

防犯ボランティアリーダー養成講座

(平成29年度 3回目)

防犯ボランティア活動の更なる活性化を図るため、県民を対象に「防犯ボランティアリーダー養成講座」を刈谷市で開催しています。全5回の講座が予定されていますが、11月21日に3回目の講座を実施しました。

3回目の講座

講師:神戸女子大学 教授 梶木典子 氏

内容:地域を守る防犯力

～大切な人・くらしを守るために～

講義は、受講生全員がそれぞれの幼少期の思い出から絵日記を作成し、子どもの頃を思い出すことから始まりました。その後、「地域安全マップ活動」を通じた防犯活動等についての話がありました。

- 子どもは遊びに夢中になると周りが見えなくなり何をするか分からないが、子どもの心身は遊びを通じて養われる。
- 自分の子ども時代を思い出し、子どもの特性を理解した上で、地域の防犯について考える。
- 公衆電話が使えない子どもが多い。
いざという時のために、常にカバンの中に10円硬貨を持たせ、公衆電話の場所やかけ方を教える。
- 非常時には、大声で、「助けて」と叫ぶことができるよう日頃から訓練しておく。



- 犯罪に強い3つの要素
～抵抗性～ ～監視性～ ～領域性～
- 地域安全マップは、不審者に着目せず、危険な場所に着目するもので、子どもでも簡単に、喜んで作ることができ、被害防止能力、地域への愛着心やコミュニケーション能力を培うことができる。
- 防犯対策には、子ども自身の対応能力向上が必要不可欠
- 子どもを見守る地域の取り組みにより、次世代を育むこと。

当日は、警察本部子ども女性安全対策課対策第一係が「子どもの安全対策」について護身術講習を交えての講義も行いました。